



私としたことが…
油断した…
呪霊の類なのか？
これは…

それに…呪力が
少しづつ吸われて
どうにかしない
マズイな…



…っぐ…
所詮は呪霊か…
なんの情緒も無い…

こんなことで
私を悦ばせる
ことなど

お
ほおっ
!!!
おにゃんこ



この...っ
程度で...

やはり犯すなら
気の強い女に
限るな

!?

どうだ？呪術師
抵抗もできずに
弄ばれる気分は？

この呪霊…
自我があるのか…!?
そんなことが…

驚いたか?
まだまだこんな
ものではないぞ?
済まないぞ?

フ…見た目通りの
低俗な存在と
いうわけか

哀れな
ものだ…

……
なに?

それにこの声…
その奥に直接
響いてくる…?
不愉快な…

好きにするとい
女一人拘束しな
手も出せない
卑怯者では…

気が狂うまで
犯し尽くしてやるよ
体の隅まで
余す所なくな

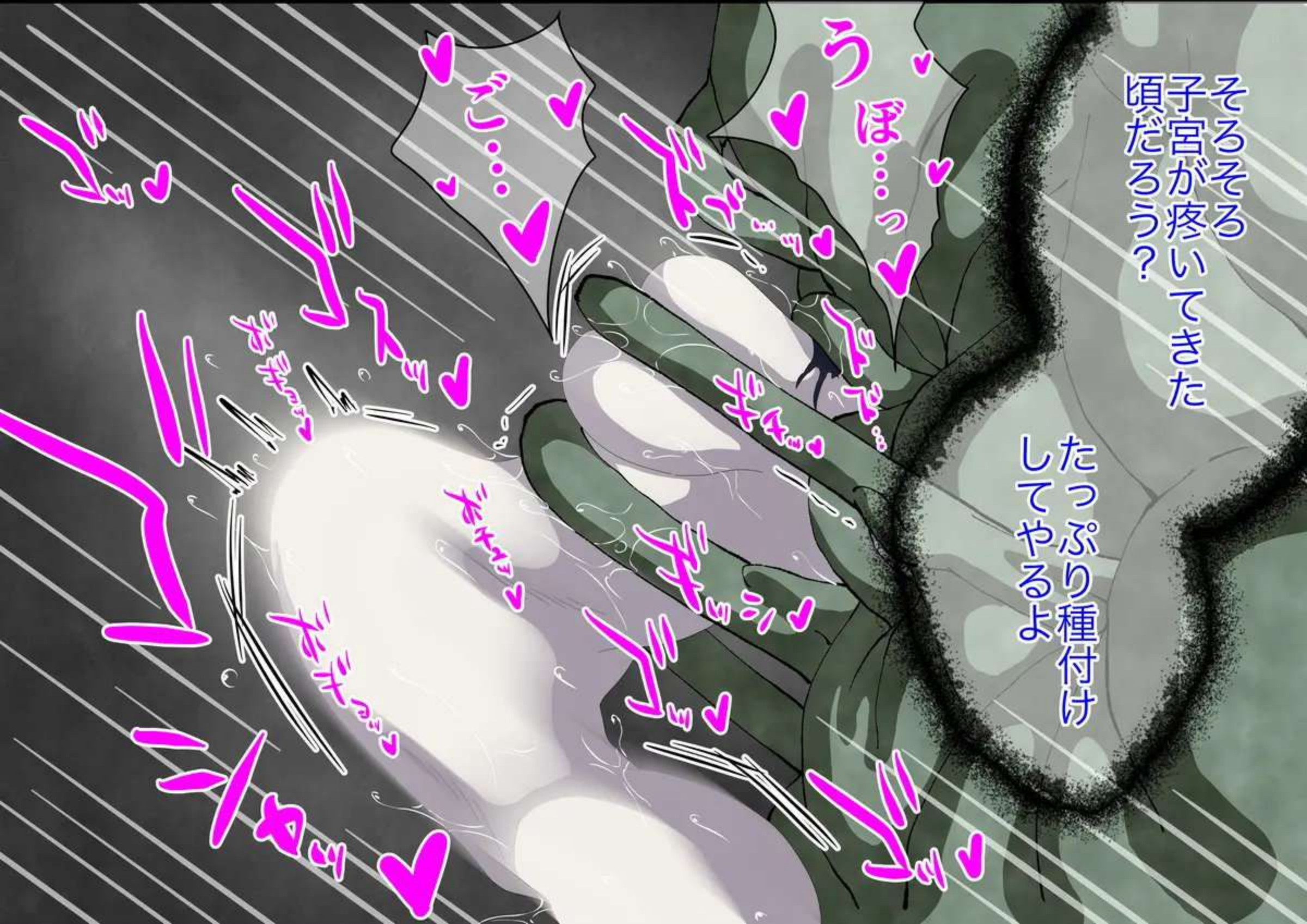
私を満足させる
ことなど到底
叶わないだろうがね





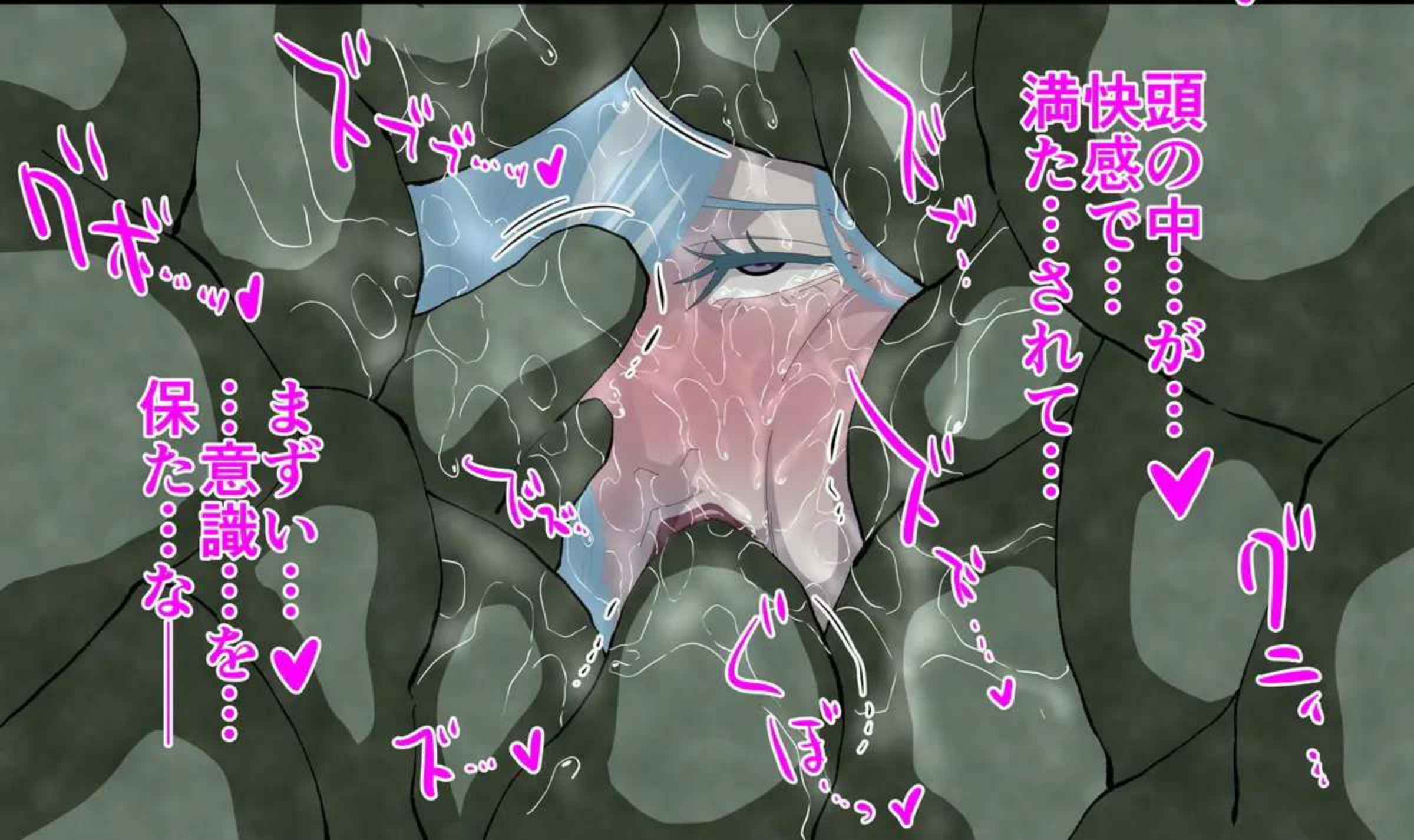
呪術師と言っても
所詮は女だな
他愛もない

まあよく
耐えて
うだが
いるなる



そろそろ
子宮が
疼いて
きた
頃
だろ
う？

たっ
ぷり
種
付
け
し
て
や
る
よ



頭の中が…快感で…満たされて…

まずい…意識…を…保た…な…

ククク…
随分といい顔に
なったな？

死ぬまで
可愛がってやるから
安心するとい



























